

《2018年度以降入学者》

■ 数理学科 教育目標・カリキュラムマップ・コースナンバリング

学科の教育目標

数理学科は、理系学問の基礎となる数学の修得を基に、数学、情報科学、応用数学の分野を横断的に学ぶことを通して、数理科学的知識と柔軟な論理的思考力及び技術をもって社会と科学技術の発展に寄与できる人物の育成を目的とする。

＜カリキュラムマップ＞
 学科のディプロマポリシー(DP)*と授業科目との関連性を示しています。この科目を履修することによって、どのDPの達成につながるかを一覧することができます。

*学科のDP(diploma policy):
 学科が養成する人材として、身につけているべき「知識・理解」「汎用的技能」「態度・志向性」を示しています。

		知識・理解	汎用的技能	態度・志向性
DP1	理系のあらゆる分野の基礎である数学の理論や概念を理解し、現代社会における数学の重要性を理解している。	○		
DP2	現代の情報化社会の基礎となる理論や技術を理解し、人間・社会・自然に起こりうる現象を分析する応用力を身につけている。	○		
DP3	数理科学的分野およびその周辺領域に関する学習を通して、論理的に考え、状況を正しく理解・分析し、問題を的確に捉え、対処する力を身につけている。		○	
DP4	学科での専門分野の学習を通して身につけた理論や原理を、社会や自然に関する実践で活用する能力を身につけている。		○	
DP5	数理科学的知識を有し、現代社会の多様な課題の発見、分析、および解決にその知識を活用する意欲と行動力を身につけている。			○
DP6	現代社会における数理学・自然科学的な現象や問題に対する探求心を持ち続け、人間・社会・自然の共存および発展のために貢献する意欲を身につけている。			○

＜コースナンバリング＞
 授業科目の難易度を示しています。
 【100番台】
 1年次から履修できる
 【200番台】
 2年次以上で学ぶレベル
 【300番台】
 3年次以上で学ぶレベル
 【400番台】
 4年次で学ぶレベル
 【490番台】 卒業論文

 *50番のついた科目は、同じ100番台の科目の中で、より難易度の高い科目
 *前のレベルの科目を履修した後に、よりレベルの高い科目を履修することが望ましい。

学科科目の選択科目は、下表に記載していません。

授業科目コード	授業科目	DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	単位数	数理学科の必修・選択必修・選択の別	履修年次	コースナンバリング	特徴ある授業科目			
												A	B	C	E
数学基礎															
250001	微分積分学Ⅰ	○						2	必修	1	100				
250002	微分積分学Ⅱ	○						2	必修	1	150				
250003	微分積分学演習Ⅰ			○				1	必修	1	100				
250004	微分積分学演習Ⅱ			○				1	必修	1	150				
250005	線形代数学Ⅰ	○						2	必修	1	100				
250006	線形代数学Ⅱ	○						2	必修	1	150				
250007	線形代数学演習Ⅰ			○				1	必修	1	100				
250008	線形代数学演習Ⅱ			○				1	必修	1	150				

専攻科目のカリキュラムマップについては、各専攻のページを参照してください。

＜特徴ある授業科目＞
 【A(アクティブ・ラーニング科目)】
 アクティブ・ラーニングの教育方法を取り入れた科目
 【B(ブリッジ科目)】
 共有
 【C(キャリア科目)】
 女性のキャリア構築の視点を
 取り入れた授業科目
 【E(英語力養成科目)】
 英語による開講の科目
 【G(グローバル科目)】
 国際的視野を取り入れた
 授業科目